

# 生涯学習情報誌

Life Learning

5 2015  
May.  
NO.297





# 「循環する時間」と「成長する時間」

## 「社会と自分と子どもとの関係」

宮台氏には8歳、5歳、1歳の3人の子どもがいる。氏はラジオやネット上で「クソ〇〇」を発する過激な発言で人気があるのだが、子どもの同級生たちからも「ウンコオジサン」と呼ばれる人気者だ。まるでガキ大将のように小さな子どもたちを率いて、ウンコの落書きをしながら近所を走り回り、授業参観に行けば子どもたちから一斉に襲撃され、教師を唾然とさせているらしい。そんな「コミュニケーション」の話から始まった講演。

### ■ウソもケンカも、やり過ぎなければ

宮台氏は子どもの教育のために、テレビの60年代コンテンツを見せているという。『ウルトラQ』や『ゲゲゲの鬼太郎』などだ。当時のストーリーの多くは単純な勧善懲悪ではなく、悪にも理由がある。怪物や妖怪が登場する背景には、人間のエゴや矛盾が描かれていたものだ。4歳までにスタジオジブリの全作を見終えた次女は、友達付き合いのために最近の流行のアニメも見つ、「悪い相手をやっつけるだけって好きじゃないの」と発言して父を喜ばせているそう。人間の善悪判断は必謬し必ず間違えると氏は言う。長い時間をかけてみないとわからないことは人生の中で多くある。

とかく白か黒か、右か左か、二元論に陥りがちなメディアやネット上の議論に警告を鳴らしつつ、子どもにもあまり細かく示唆するのは良くないという。「ウソをつくな」「暴力はいけない」、でも「やり過ぎなければ」というくらいの態度がいいそうだ。

宮台氏は子ども時代に何回もの転校を経験し、まずは番長と女の子に気に入られる転校生デビューのテクニクを学んだ。自分で何でもできなくても、頭のいいやつやケンカの強いやつと仲良くなればいい。氏を有名にした援助交際の取材などで、裏社会の人間と交渉するのも平気だったという。冬のコペンハーゲンで凍った道を自転車でする人たちに、「危ないでしょ？」と聞くと、「危ないよ。だから気をつけるのさ」と返された。過剰にリスクを取り除く社会は、逆に自分で判断でき



宮台氏は苅宿先生のホーム青山学院大学の大学院で「社会デザイン」の授業を担当されている。また、本シリーズ第3回の講師・佐伯胖氏は義父にあたる。

2015年3月8日  
東京大学 福武ホール

講演：宮台真司 社会学者／評論家／首都大学東京講師  
ナビゲータ：苅宿俊文 青山学院大学社会情報学部教授

ない、リテラシーの低い子どもを育てることになると警告する。

### ■知性と感情の劣化が民主主義を壊す

宮台氏は歩きながら人のオーラを観察するのだが、表情が硬く、縄張り意識の強いオーラを出している人が多いという。90年代から盛んにコミュニケーション教育が叫ばれたにもかかわらず、うつ病が3倍に増えた。日本人は社会に適応しようとするが、

今はいかに社会に適応しないかが大切と強調する。無思慮なネットウヨ的暴言が世界的に増えている。90年代の言論の場でもそういう人間は少数だったがいた。ネットではその少数があらゆる場所で暴言を發し、大量に永久に流れる。知性と感情の劣化だ。このままいくと民主主義に未来は無いかもしれない。なぜなら民主主義は理性的コミュニケーションが前提であるからだ。

### ■他人の幸せを自分の幸せとできる人間

20世紀は例外的に労働生産性が資本生産性を上回った時代で、中産階級が増えたが、90年代に一気に崩壊。グローバル化によって経済は回ったが大きな格差が生まれた。孤立し分断された人が増えると、社会は全体主義に走ると言われる。データをふまえた冷静な議論をしないと必ずリベラル（ネガティブティをシェアする方向）に振れる。声がかいだけの意見を抑制するのもファシリテーターの役割だ。

感情劣化していない人は、政治や社会はどうあれ、一部の人間を置き去りにしたまま幸せにはなれないと考える。損得勘定（自発性）を超えた内発性こそが社会を再生産できる。60年代コンテンツやジブリ作品には、いざというときに自分がどうなっても助けた人があるという内発性が描かれている。教育とは、何になるとしても立派な人間になれ、卑怯なやつにはなるなと教えること。自分だけの幸せを願うのではなく、他人の幸せを自分のこととできる人間に育てることであると訴えた。

沈む太陽が一番美しいように、まだまだ輝く着物を

① オーストラリアの花と海がモチーフ (2003年作)



## 友禅染め 坂和 清

Sakawa Kiyoshi

1949年 東京神田三崎町に生まれる  
1967年 父・坂和正春に師事し、友禅、型絵染めを学ぶ  
1975年 正春死去により独立  
1976年 第1回全日本新人染織展(奨励賞)  
1978年 第3回全日本新人染織展(努力賞)  
1983年～ 版画家・森義利先生に学ぶ  
1989年 日本工芸会技術保存事業(茶屋染復原事業に参加)  
1992年～ 伝統工芸新作展、日本伝統工芸染織展に出品  
1997年 日本伝統工芸展入選『風彩』  
2000年 日本伝統工芸展入選『初秋の光』  
2001年 銀座ポーラギャラリーにて個展  
2002年～ 日本伝統工芸展、東日本伝統工芸展に出品 現在に至る  
2015年 東日本伝統工芸展に出品 友禅訪問着『夕焼け雲』

友禅染めは日本の着物の代表的な染色法で、友禅の名は江戸時代の扇絵師・宮崎友禅斎に由来する。元禄期、友禅斎の扇絵は人気があり、その画風を小袖の図柄として染めたのが始まり。友禅作家・坂和清氏の工房がある新宿区の神田川周辺は、江戸時代に京都から来た着物職人が住み着き、東京友禅の産地として今に至る。

——友禅の制作工程は細かく分れているそうですが、その所から教えてください。

まずは図案を起こすところから始まります。写実的な柄、図案的な柄など多様ですが、いずれも写生が根底にあります。抽象的な図柄でも、自然を観察することでヒントを得ています。着物は季節に先駆けて制作しますので、常に季節の花や鳥、風景などを写生します。下書き、墨入れをして図案が完成します。

その後、糸目糊置きといって糊を絞り出しながら、生地にも図案の輪郭を描いていきます。にじんだりしないよう糊を定着させる地入れという作業の後、輪郭の内側を細かく彩色します(友禅差し)。次は彩色した部分を糊で覆って、背景の生地を染めます(引き染め)。そして蒸して水洗いをして糊を落す。仕上げの紋章付けなども含めて12〜13工程あります。

工程ごとに職人がいるのですが、展覧会などに出すものはほとんど自分でやります。移動中の傷みを避けるのと、もう1色、もう1塗りなど、細かい調整をするためです。1作に数か月かけることもあります。

——彩色する染料はどのようにしているのですか。原色となる5〜6色を混ぜ合わせて小さな絵皿に1色



ずつ作っておきます。作り置きはせずに、その都度、1色ずつ調合しているので、既製品にはない色を出せます。振袖など柄の多い着物には、100色程も色を使用することがあります。

——モチーフや絵柄はどうやって決めるのですか。

着る人の体型なども考慮し、着た時に自然に見える構図を考えます。出展の際は衣桁に掛けた時の見栄えも意識しますが、やはり着物は着てもらおうのがうれしいですね。通常は着る人の年代や好みに合わせて、品の良い着物になるように心がけています。以前は歳を重ねることに渋い色にするのが定番でしたが、最近は自由になつてきて良いことだと思います。

これはオーストラリアで見た「猫のひげ」という花がモチーフで、白い花がスッキリと映えるように背景を藍1色にしてみました(写真①)。この花を見た瞬間、「あつ、これは面白い」と感じました。写生は出会いの瞬間がすべてで、勝手に花がすーっと視覚に入ってきて、くつきり見える感覚です。やはり花柄は好きな人が多いですね。花柄は一枚一枚をていねいにぼかし彩色するので、根気がいる作業となります(写真②)。

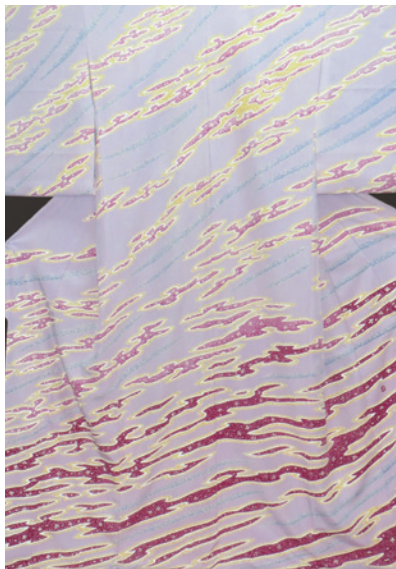
江戸時代に使われていた蓑の古典柄に宝尽くしを配して、現代に合うように配色や柄をアレンジしました(写真③)。江戸時代は着物の全盛期で参考になるものは多いです。ただ、当時の画風に囚われ過ぎると現代に合わなくなるので、注意しなければいけません。

部分的な見本を作って、色味や雰囲気を確認してから制作することもあります(写真④)。

——伝統技術や日本文化の良さを次世代にどう受け継いでいってほしいですか。

私自身は、伝統や日本文化がどうかにかかわらず、生活の中で良いモノは良いと感じています。

活動としては、千代田区の2つの小学校で、5年生を



⑤夕焼け雲 (2015年作)



③蓑紋様を現代風にアレンジ (2007年作)



④婚礼用の華やかな着物 (2007年作)



②北海道のラベンダーから (2005年作)



聞き手:上野由美子(右)

古代オリエントガラス研究家。UCL(ユニヴァーシティ・カレッジ・ロンドン)考古学研究所在籍中。2012年国際日本伝統工芸振興会の評議員。ARTP副団長として王家の谷発掘プロジェクトに参加(1999年~2002年)。聖心女子大学卒業論文『ペルシアガラスにおける円形切り装飾に関する考察』、修士論文『紀元前2000年紀に於けるコア・ガラス容器製作の線紋装飾に関する考察』ほか、執筆・著書多数。

対象に、ハンカチを自分で染めて完成させる講座を担当しています。「ふれあい広場」といって7、8年続けています。輪ゴムで縛って、4色の中から好きな色を選んでハンカチを染めます。熱湯で煮沸し、水洗いをし、最後にアイロンを掛けるところまでやります。煮沸や水洗いは友禅染めの蒸しや水洗いに相当します。子どもたちは大喜びします。日本文化の良さを感じたら、継承し残してもらえないのでしょうか。これから外国の子とも触れ合う機会も多くなるでしょう。そういう時に、お互いの文化を紹介し交流してほしいですね。

——今後チャレンジしたいことはありますか。

年を追うごとに作風が明るくなってきたように、私の感性も少しずつ変化しています。また、お客様の好みも変わります。たとえば着物に合わせる帯の色は、以前は反対色だったのが、最近は同色系が主流になりました。これまでとは違った素材で制作したり、風景や目に見えないモノを描いたりしてみたいです。

今年の東日本伝統工芸展(4月15日~20日、日本橋三越)に『夕焼け雲』という作品を出しました(写真⑤)。太陽は沈む時が一番華やかだと言われます。私も年齢的には夕陽の時代に入りましたが、染色という領域に囚われずチャレンジして、着物も私自身もますます輝いていきたいと思っています。

### ◆アスパラと釜揚げしらすのピッツァ

#### 〈材料／1枚分〉

アスパラガス…………… 2本  
市販のピザ皮…………… 1枚  
モッツアレラチーズ…………… 大2～3  
練りわさび……………適宜  
釜揚げしらす…………… 大2  
グリーンピース、刻みネギ…………… 各大1

#### 〈作り方〉

- ①市販のピザ皮に練りわさびを塗り、全体にモッツアレラチーズを2/3くらい乗せる。
- ②チーズの上にしらすを乗せ、グリーンピースと刻みネギを散らす。
- ③アスパラは縦横に適当に切り、②の上に形よく乗せて、残りのチーズを加える。オーブンで薄いきつね色になるまでパリッと焼く。



### ◆アスパラガスの生ハム巻き

#### 〈材料／4人分〉

アスパラガス…………… 8本  
生ハム（ベーコンでも可）…………… 8枚  
植物油……………適量  
塩・コショウ……………適宜

#### 〈作り方〉

- ①アスパラガスは根元の固い部分の皮をむき、生ハムを巻き付ける。
- ②テフロン加工のフライパンに油を引き、①を巻き終わりを下にして入れ、時々転がしながら焼く。生ハムの塩分をみて足りなければ塩・コショウを振り補う。

#### 提供：FLAネットワーク協会

一般社団法人FLAネットワーク協会では、食生活アドバイザー®検定を通して、正しい食事を生活とともに提案し、適切な助言や指導ができる食生活の専門家を育成しています。また、様々な面で優れている和食の見直しと普及にも力を注いでいます。  
お問合せは▶TEL 0120-86-3593

# アスパラガス



アスパラガスの歴史は古く、ローマ時代にはすでに食用とされていました。新陳代謝をよくして、活力を高めるアスパラギン酸を多量に含み、疲労回復やスタミナ強化、美肌効果が期待できます。

栄養的には、ビタミンB群が豊富で、β-カロテン、ビタミンC・E、ミネラルのカルシウムやカリウムも期待できる量が含まれています。穂先にはルチンが含まれ、歯茎の出血や鼻血の予防、高血圧や動脈硬化の予防に役立ちます。

ルチンは水に溶けやすい成分なので、下茹でせずに、生のまま焼く、炒める、揚げるなどの調理法をとると有効に摂取することができます。

いいグリーンアスパラガスは緑色が鮮やかで、切り口がみずみずしく穂先が縮まっています。細いものはスジっぽく固い場合が多いので、太めのものを選ぶと良いでしょう。

ホワイトアスパラガスも元はグリーンと同じですが、日光に当たらないで育てるとホワイトになるのです。カロテン、ビタミンB群などはグリーンのほうがはるかに多く含まれますが、アスパラギン酸はどちらも同じです。

根元の固い部分は皮むき器で皮を薄く剥くと食べやすくなります。保存時はラップで包んで穂先が上になるように冷蔵庫に。

古くなると苦みが出てくるのですぐに食べないならば、軽く茹で、冷凍しておきましょう。